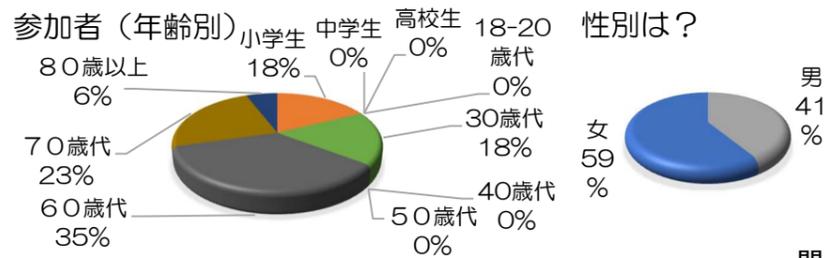
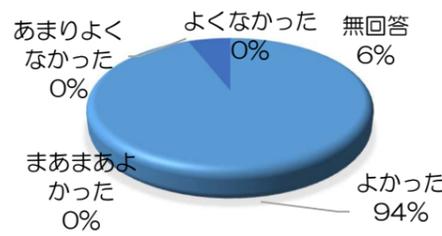


○春の野草観察会（5/18）アンケート結果

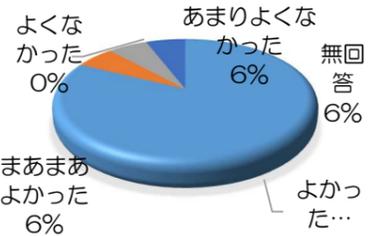
問1 あなたの年代、性別は…？



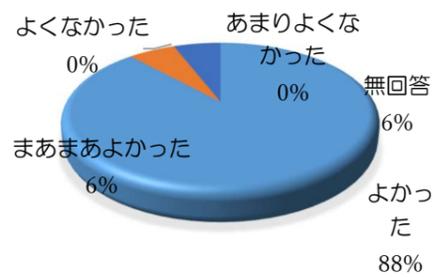
問2 講座の全体的な企画は…？



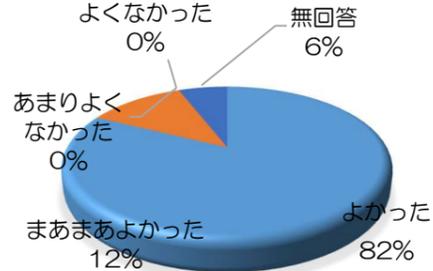
問4 講義について…？



問3 日程はいかがでしたか？



問5 自然館周辺を歩きながらの…？



問6 今日の講座について…？

- 普段何気なく見ていた植物にも、一つ一つ名前があって、いとおしくなりました。うっちゃん先生ありがとうございます！！（60代、女）
- 植物について楽しいお話ありがとうございます。まだまだ、たくさんお聞きしたい気持ちです。このような機会があればまた是非参加したいです。（70代、女）
- 初めての参加です。地道な活動だと思いますが、このような活動の積み重ねが素晴らしいです。講師の方の説明は、とても分かりやすく、親近感のわく語りでした。企画・運営とバックアップされる方々もありがとうございました。（60代、女）
- ヨモギ、オタチハギ、ハマゴウ、イヌビワ、スイカツラ、トベラいろんな植物に出会い、知らなかったこともまだまだあり、いい勉強になりました。（30代、男）
- 説明がわかりやすく、楽しかったです。外来植物もおもしろく、植物の賢い戦略も勉強になりました。子どもが植物以外に気を取られているときも、虫や砂など声をかけてくださり、楽しく過ごせたようです。ありがとうございました。（30代、女）
- いろいろな野草を見て、その野草について知れてよかったです。（6年生、男）



問7 今後の講座で…

- 四季を通していろんな植物のお話知りたいです。（70代、女）
- 秋の観察会があればいいですね。（60代、男）
- 春以外の野草の観察できる会に参加したい。（6年生、男）

つノシマ自然館だより

Tsunoshima kujira

第11号 2024.06.15
発行/豊北町自然観察指導員会
〒759-5332
下関市豊北町大字角島 893-1
つノシマ自然館
☎/fax 083-786-0430
E-mail #sunoshimakujira@ce.wakwak.com



2024.05.18(土)実施

角島での海女漁

角島は、明治30年代まで漁業権を持たない農耕主体の島でした。近世は、藩に献上するアワビなどの海産物を確保するため、玄海灘沿岸の海人（あま漁民）たちに磯を開放していました。また、角島の庄屋は、海人漁はもちろん、ノシアワビを作る技術が優れていた海人の派遣を、大島や鐘崎の庄屋へ依頼しています。

安川浄生の「筑前大島の海女」によると、大島の海女は、一家全員が三反帆（さんたんぼ）の小舟に乗り角島に渡り、6月から9月ごろにかけて浜に小屋を建て、漁を実施したとあります。

角島の勝安寺（しょうあんじ）の裏山の墓地からは、海を望むことができ、島で命を落とした大島、鐘崎の海人が葬られています。そこには「筑前大島・田志清右衛門」や「鐘崎海人・権田兵太郎長男富吉」などと記された墓が約100基あります。

親子で 角島こども探検隊 海辺の昆虫観察会

2024年8月4日(日) 9:30~12:00 つノシマ自然館

講師：やまぐち昆虫学会会長 昆虫研究家 再田正明 先生

▽角島にすむ、浜辺の昆虫を観察します。(ヘアのクワガタのプレゼントがあります)

◆申し込み方法◆
※保護者の方へ
① 申込書に記入の上、下記のとおりお申し込みください。
② 申込書に記入の上、下記のとおりお申し込みください。
③ 申込書に記入の上、下記のとおりお申し込みください。

◆お申し込み先◆
〒759-5332 下関市豊北町大字角島893-1 つノシマ自然館
TEL: 083-786-0430
E-mail: tsunoshimakujira@ce.wakwak.com

編集後記

○ うっちゃん先生の「春の野草観察会」、天候にも恵まれ、アンケートの感想にもありましたが、先生の豊かな知識とユニークな解説に、大好評のうちに無事終了しました。昨年度と同じコースで実施しましたが、うっちゃん先生曰く、「この1年で植生がすっかり変わっている。」そうです。今回も、植物の賢い戦略をたくさん学ぶことができ、勉強になりました。

○ 5月の入館者が久しぶりに500人を超えました。まだまだコロナ前のように戻りませんが、少しでも多くの方に角島の自然の素晴らしさを伝えることができるように企画していきます。

さて、今回の観察会も自称「植物オタクのうっちゃん」こと内田祐介さんにナビゲートをお願いし、昨年来NHKの朝ドラ「らんまん」から起こった、植物ブームの余韻の中で始まりました。自然館からキャンプ場に向かう道脇の常緑樹『トベラ』について、「この子はそこら中に生えてきて、すぐに切られてしまうかわいそうな木ですが、葉っぱを丸くして潮風から身を守る賢くかわいい奴ですよ。」内田さんの癒し系の口調と植物愛が、存分に伝わってきました。

さらに、浜辺の植物カワラヨモギを見つけ、「二千年の昔、秦の始皇帝が日本に向かわせたという伝説の仙人『徐福』が見つけた不老不死の薬の一つですよ…」とミステリーを交えた興味深いお話も聞くことができました。短いコースを歩く中でも、希少な種が見られ、美しい花々を鑑賞する観察会とは少し違った、角島ならではの観察会になりました。

館長 広瀬 徹

